ヤングケアラーについて

坂口絹代議員

坂口 ヤングケアラーとは、家庭内で病気、障害、または高齢などの理由でケアが必要な家族を持ち、そのケアを担っている子どもたちを指します。ヤングケアラーと思われる子どもにどのような手だてで支援をされるのか。

答弁 ヤングケアラー自身とその家族への支援が必要であると考えております。最善の利益の観点から個別に判断していくことが重要であると考えます。まずはヤングケアラーに対する理解を深めるための周知を図り、社会全体がこの問題を認識し、ヤングケアラーの存在が見逃されることがないよう社会全体で取り組んでいくことが大切です。

若者支援について

坂口 多久を離れていく若者が多い中、単身の若者に対しての支援は。

答弁 単身の若者に対する支援としては、親元同居増改築補助金・地方創生移住支援金・佐賀くらしスタート支援金があります。

坂口 昨年、質問した奨学金返済補助などはどうなったのか。

答弁 令和7年4月から新たな定住政策の検討を行う際に、この奨学金返済制度も一つの施策として検討していきたい。

坂口 多久市内から市外へ通勤される若者に通勤手当助成金などの考えは。

答弁 この通勤支援については制度設計が非常に難しいと今現在考えています。

坂口 一度多久を離れた若者がふるさと多久へ帰ってこれるよう、他の市町に先駆けていろんな手を打っていただきたい。

多久市グリーンパークについて

廣橋時則議員

廣橋 多久市グリーンパークは、昨年4月に北多久の上揚地区にスポーツ・レクリエーション施設としてオープンしたが、施設整備の経緯と利用者の状況は？

答弁 クリーンヒル天山の建設工事に伴う地域振興対策事業の一環として整備されました。令和5年度の利用者数は1，807人で、使用料収入は、合計302，520円となっています。

廣橋 当初の見込みの利用者数は？

答弁 年間約5，000人を見込んでいました。

廣橋 運営スタッフの構成人員と人件費ほか運営経費は？

答弁 職員は4名体制で、人件費は約1，560万円、芝の管理などで委託費約448万円、水道光熱費は約86万円です。

廣橋 収支の赤字は想定の範囲内だったのか。

答弁 スポーツの振興や交流人口の増、地域活性化を図る施設として整備を行いました。そのため誰でも利用しやすい料金とし、利益を出す目的で計画していません。

廣橋 人件費など経費を合わせると、年間僅か30万円を稼ぐのに2，100万円以上もかかっているが、4人のスタッフの見直しは。

答弁 効率的な運営とそれに伴う適正な人員配置の検討を考えています。

廣橋 第10次多久市行政改革大綱でも指定管理者制度の推進をうたっている。運営を指定管理者に委託できないか。

答弁 効率的な運営を検討する中で、指定管理者制度による管理運営も視野に入れ検討を進めていきたいと考えています。

部活動地域移行について

渡島幸司議員

渡島 今後のスケジュールは。

答弁 令和7年度より休日における運動部活動の地域移行を完全実施したいと考えています。

渡島 地域指導者登録数は？また、どのように発掘しているのか。

答弁 16名の皆さんに協力いただいています。今後、指導者募集の呼びかけを改めて行い、可能な限り複数体制で対応できる環境を整えていきたいと考えています。

渡島 教職員の兼職兼業は。

答弁 兼職兼業願の申出により、地域指導者と立場を変えて関わることが可能になります。

渡島 地域移行を進める際に主体となるのは。

答弁 教育委員会が主体となって対応しています。

渡島 財源確保は。

答弁 国の補助事業を活用しながら地域移行の取組を進めています。今後も、様々な方法を研究していきます。

渡島 活動場所に集まる方法は。

答弁 現在は移行期間としてスクールバスの運用を行っていますが、学校の管理外となる地域移行したチームの活動に対しては、引き続き検討している段階です。

渡島 地域移行後の大会参加について。

答弁 これまで出場していた大会に参加できない状況にならないよう、引き続き関係の協会、連盟に要望していきます。

人口減少対策について

香月正則議員

香月 平成30年と令和5年の自然動態は。

答弁 平成30年は、マイナス212人。令和5年は、マイナス204人です。死亡者数が出生数を上回っている状態です。

香月 社会動態は。

答弁 平成30年は、マイナス101人。令和5年は、マイナス88人です。転出者が転入者を上回っている状態です。

香月 死亡者数および、その要因は。

答弁 令和5年度死亡者302名のうち、がんによる要因の割合は26・9％です。

香月 がんの予防対策の取り組みは。

答弁 集団検診を各町公民館、毎日検診を佐賀県健診・検査センターで、また個別検診を県内の登録医療機関で、それぞれ実施しています。合わせて、国民健康保険加入者には検診費用の一部免除、生活保護世帯・非課税世帯には全額免除も実施しています。

香月 企業誘致・市内企業への支援策は。

答弁 誘致企業を増やす施策としては、市独自の優遇制度により他市町との差別化を図っています。また、県と連携した誘致活動に取り組んでいます。

市内事業者の支援策としては、事業者に対し、市、金融機関、信用保証協会が連携して、金融支援を行っています。また、多久市商工会が行う経営指導などに補助金を交付し、支援を行っています。

市内企業への県と連携した誘致活動に取り組み、また、商業経営基盤強化への支援に取り組んでいます。

香月 情報発信についての考えは。

答弁 希望する情報を選択し、受信できるようなプッシュ型の情報発信なども考える必要があります。